

# 「我が国における世界文化遺産の今後の在り方(第一次答申)素案」

## に関する意見募集の結果について

「我が国における世界文化遺産の今後の在り方(第一次答申)素案」について、国民の皆様にご意見の募集を行いました。主な意見は別紙のとおりです。頂いた御意見につきましては、一部答申案に反映するとともに、その他のものについても今後の施策の検討や推進の参考にさせていただきます。なお、取りまとめの都合上、内容により適宜集約させていただいております。

今回の御意見をお寄せいただきました多くの方々のご協力に厚く御礼申し上げます。

### 1. 意見募集の概要

- (1) 期間 令和3年2月19日(金)～令和3年3月18日(木)
- (2) 告知方法 文化庁ホームページ, e-GOV等
- (3) 意見受付方法 文化庁ホームページ, e-GOV等に掲載

### 2. 意見の提出状況

意見総数：48件

#### <参考>項目ごとの意見の内訳

答申案 該当箇所	意見数
はじめに	2
第1章 世界遺産一覧表への記載の意義	
(1) 保存	2
(2) 価値	1
(3) 活用	3
第2章 世界文化遺産の持続的な保存・活用等	
1. 国際的な現状と課題	
(1) 保存	2
(2) 価値	
(3) 活用	
2. 我が国において顕在化している課題	
(1) 保存	4
(2) 価値	1

(3) 活用	1
3. 今後の在り方	
(1) 保存	1 6
(2) 価値	2
(3) 活用	5
第3章 世界遺産一覧表の充実に向けた取組	
1. 推薦すべき資産	
2. 暫定一覧表の改定手続	2
むすびに	
その他意見	7

「我が国における世界文化遺産の今後の在り方(第一次答申)素案」  
に関する主な意見の概要

※ 本概要は、寄せられた意見に基づいて、事務局の責任において作成したものである。

はじめに

- 地域コミュニティに焦点を当てることとしたことについての論理的な説明がない。地域コミュニティの観点は、世界文化遺産の適切な保存、活用に関する制度や運用など様々な観点の課題の一つに過ぎない。環境保全等に関わる制度の改善が最も重要な課題。
- 文化遺産の保護手法について、世界と「共有」を図ってきたとの表現が分かりにくい。文化財保護法によって世界に先駆けて包括的な保護に努めてきたこと、木造建造物の材料や技術の継承の考え方等、世界遺産制度の発展に寄与してきたことについて述べるべき。

第1章 世界遺産一覧表への記載の意義

(1) 保存

- 遺産の顕著な普遍的価値 (OUV) を保護し、維持といった緩衝地帯本来の目的を明示する必要がある。世界遺産を生かしたまちづくりは派生的な効果である。

(2) 価値

- 外交問題に発展する事案について、省庁横断的な体制を構築すべき。

(3) 活用

- 来訪者の増加や地域経済の活性化、新たな雇用の創出、人口の獲得等を目的として文化財の保護を手段とする政策が必要であるという論理は、本末転倒。人々が文化遺産を誇りに思い、伝統を大切にして、未来へ継承するため保存していくことを文化遺産の価値を享受しながら学び、理解していくことが重要。

- 世界遺産について、観光の目玉作りのように揶揄されることが多いが、SDGs への貢献を含め幅広い効果を期待している。これから登録を目指す自治体は、なぜ世界遺産を目指すのか、世界遺産を素材としてどのように地域をマネジメントするのかを（登録する前に）考えるきっかけにしてほしいと思った。

## 第2章 世界文化遺産の持続的な保存・活用等

### 1. 国際的な現状と課題

#### (1) 保存

- 遺産影響評価 (HIA) は、開発圧力の高い都市のみならず、すべての世界遺産に対して求められていることを明示する必要がある。

### 2. 我が国において顕在化している課題

#### (1) 保存

- サイトマネージャーの重要性に言及してもらえたことは、大変ありがたいと思う。横断的に遺産に関与するサイトマネージャーの配置・継続的な育成等が不可欠であることを強調して欲しい。
- HIA の必要性について法的根拠が不明確であり、文化財の周辺環境を含めて一体的に保全する仕組みの検討を早急に開始し、必要な法改正等の措置を具体的に提示し、実現を図ることが急務。世界遺産に登録されていない史跡等の文化財についても、周辺環境を含めた広域的環境保全を行うことが必要。

#### (2) 価値

- 世界遺産一覧表記載後に新たな価値の発見が発見された場合、それを踏まえた資産の拡張を行うべきではないか。

#### (3) 活用

- 地域の発展と資産の保存管理の相互発展的な推進など、ポストコロナに向け地域資源を活かした戦略的な世界文化遺産の保存・活用等の在り方を提案して欲しい。

### 3. 今後の在り方

#### (1) 保存

- サイトマネージャー育成に関して、国が支援して欲しい。
- 答申後には環境保全について、方向性や手順などを地方公共団体と協議して具現化して欲しい。
- 事業者のお手盛りになってしまう傾向がある HIA について、公正中立な在り方の確立を望む。
- 緩衝地帯が狭い事例が見受けられるが、資産の特性に応じた緩衝地帯の設定の在り方が確立されるべき。
- 専門委員会や協議会の設置など、自治体における具体的方策に実効性をもたせるための世界遺産に関する法整備をしてはどうか。

#### (2) 価値

- 「海路」が重要な意味を持つ遺産において、大規模な洋上風力発電が計画されている事例あり、懸念される。
- 国において、個別の世界遺産の普遍的価値の研究とその発信を行うべき。
- 国による国際交流の成果が地方自治体に還元されるべき。

#### (3) 活用

- 地域コミュニティの主体的な保護活動に対して国の支援が必要。

## 第3章 世界遺産一覧表の充実に向けた取組

### 2. 暫定一覧表の改定手続

- 観光活用や地域のシンボルとして保護顕彰するのであれば、国内制度でも効果が達成できると思われるし、世界遺産登録には今後さらに時間と手間が予見される。世界遺産を目指す自治体にはよく考えて推薦してほしいし、国には、推薦前に意思確認をしっかりとって推薦してほしい。  
また、暫定一覧表記載資産の削除にも言及されているが、前向きな提案と

なるような表現にしてはどうか。

- シリアル資産の世界遺産一覧表への記載を目指す場合に、国、自治体間の役割について明確にするべき。

その他意見
-------

- 表現の平仄や体裁に関する御意見。
- 文言のニュアンス等に関する御意見。
- 日本は文化支出規模が諸外国に比べて少ないため、世界文化遺産に係る地方への支援の充実させて欲しい。
- 第1章・第2章の構成として保存・価値・活用と並べているが、文化財の保存と活用と価値は別次元のものであり、別に論ずるのがよいのではないか。
- 世界遺産以外の文化遺産とのつながりにも言及すべき。
- 文化財所有者や地域住民の役割を明示すべき。
- 世界的に登録数が増加することにより世界遺産の価値が相対的に低減されている。類似のコンセプトにより登録された文化遺産の統合整理が必要。
- 地域活性化の足かせや外国人観光客等の訪問により、地域の環境に影響がないようにしてほしい。
- 個別の遺跡等に関する御提案。

以上